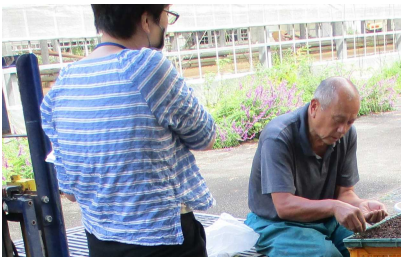


普及活動情勢報告（令和4年10月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

加工用ワサビの生産安定に向けて ～いの町農業公社が加工用ワサビの育苗試験を開始～



いの町農業公社では9月20日から、取引企業、町、JA、農業改良普及課が協力して、加工用ワサビの育苗試験を開始しました。公社では、加工用ワサビの育苗事業を行っていますが、発芽率が悪く、定植時期に出荷ができない年もある等の問題が発生していました。そこで今年度は、発芽器を活用した育苗・移植等の試験を行っています。公社の職員からは「移植は大変だが、9月は発芽器育苗が良さそう」との意見がありました。農業改良普及課は、試験結果の取りまとめなど、育苗事業が軌道に乗るよう今後も関係機関と協力して、いの町農業公社を支援していきます。

ズッキーニの高品質・安定生産のために ～JA高知県土佐市ズッキーニ部会が目慣らし会を開催～



10月17日、JA高知県土佐市ズッキーニ部会は、令和5園芸年度の出荷が開始したことに伴い目慣らし会を開催し、9人が参加しました。生産者からは去年度から試験的に始めた新品种の果形について「今年は暑かったためやや果形が崩れた」「暑さに弱い品種なのかも」等活発に意見が飛び交いました。農業改良普及課は、目慣らし会の場を活用し、JA営農指導員と協力して、コナジラミ防除のため気門封鎖剤を取り入れた農薬散布例を紹介し、発生初期からの防除の必要性について理解してもらいました。農業改良普及課では、今後も関係機関と連携して、ズッキーニの収量及び品質の向上について支援を行っていきます。

新たな経営形態を目指して！ ～経営発展志向農家の法人化検討会を開催～



10月19日、中央西農業振興センター会議室で、経営発展志向農家の法人化について税理士を交えて検討を行いました。税理士からは3ヶ年の決算書を元に、法人化をすることによる税金や社会保険料の増減等を説明されました。また農家から、自分の考えている生産計画や販売内容について説明してもらった後、税理士、農業会議、農業改良普及課でどのような法人形態にすればいいか、体系図をボードで確認しながらまとめていきました。農家からは、「悩んでいたが、話し合うことで今後の組織形態が明確になった。」との意見が出ました。農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し経営発展志向農家への支援をしていきます。

いの町はナシの産地です、知ってますか？ ～いの町神谷・伊野南小学校でナシの出前授業を実施～



いの町神谷小学校3・4年生12人(10月4日)、伊野南小学校3年生30人(10月6日)を対象に、ナシの出前授業を開催しました。農業改良普及課は、生産者、いの町、JA高知県伊野支所と連携し、授業の前半で高知県での果樹・ナシ栽培やナシ生産の苦労話を紹介しました。後半では子供たちが梨の糖度を予想したり、実際に糖度を計測する実習の支援を行いました。子供たちからは「ナシってこんなに動物に食べられるんだ!」「ナシ栽培ってこんな手間がかかるんだ!」などの声がありました。農業改良普及課では、今後も出前授業を通して、地元の農産物のことを知ってもらい愛着を持ってもらえるよう、食育の推進を図っていきます。